

地域イノベーション戦略推進地域 とやまナノテクコネク・コアコンピタンスエリア (研究機能・産業集積高度化地域) 終了評価結果

(1) 地域イノベーション戦略の概要

○イノベーション推進協議会：とやまナノテクコネク推進協議会

○総合調整機関：公益財団法人富山県新世紀産業機構

○協議会構成機関：

【産】：一般社団法人富山県機電工業会、富山県プラスチック工業会、一般社団法人富山県アルミ産業協会、一般社団法人富山県繊維協会、一般社団法人富山県薬業連合会

【学】：国立大学法人富山大学、公立大学法人富山県立大学、独立行政法人国立高等専門学校機構富山高等専門学校

【官】：富山県

【金】：株式会社北陸銀行、株式会社富山第一銀行、富山信用金庫、高岡信用金庫

○地域イノベーション戦略のテーマ：

とやまナノテクコネク・コアコンピタンスエリア

○地域イノベーション戦略の概要：

富山県の第2次産業は、金属・加工、機械・電子、プラスチック・繊維、化学・医薬・バイオなど幅広い産業の拡がりがあり、それぞれが高度なコア技術を醸成し北陸地域有数の工業集積地を形成してきた。この基盤をもとに優れた人材を育成・活用して「ナノテク技術とコア技術の融合化」(ナノテクコネク)プログラムを戦略的に推進し、産学連携・異業種交流を加速して、革新的ものづくりのコアコンピタンスエリアを形成する。

(2) 総評(総合評価：A)

「とやまナノテクコネク推進協議会」のもと、総合調整機関がハブとなって中間評価の指摘事項への対応を着実に進めてきており、地域イノベーション構想であるナノセルローズを中心とした取り組みは、出口段階にきており評価できる。今後は、金融機関や自治体等の支援を活発化させることで、一部の企業との研究開発から幅広い地域企業への技術移転を行うことが見込まれる。特に本事業を通じて構築されたプラットフォームを基幹産業であるアルミ産業や医薬品産業等に適用する企業間連携によるコンソーシアムの形成に期待したい。